

改訂日 2022 年 9 月 30 日(第 9 版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	シンジェンタ ホクト粒剤
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
E メールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	除草剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類		
健康に対する有害性	生殖細胞変異原性 発がん性 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2 区分 1A 区分 1(呼吸器系、腎臓、免疫系)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性) * 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」	区分 1 区分 1
ラベル要素		
絵表示又はシンボル		
注意喚起語	危険	
危険有害性情報	遺伝性疾患のおそれの疑い(H341) 発がんのおそれ(H350) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系、腎臓、免疫系)(H372) 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性(H410)	
注意書き	【安全対策】 使用前に取扱説明書を手に入ること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260) 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)	

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
 環境への放出を避けること。(P273)

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)

漏出物を回収すること。(P391)

【保管】

施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名【一般名】	ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート【一般名:シハロホップブチル】
	2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1,2-ジメチルプロピルアミノ)-s-トリアジン【一般名:ジメタメトリン】
	エチル=5-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-1-メチルピラゾール-4-カルボキシラート
	【一般名:ピラゾスルフロンエチル】
	2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド
	【一般名:プレチラクロール】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号	CAS番号
シハロホップブチル	0.60	C ₂₀ H ₂₀ FNO ₄	4-(7)-1745 (安衛法)	122008-85-9
ジメタメトリン	0.20	C ₁₁ H ₂₁ N ₅ S	8-(3)-173(安衛法) (5)-5441(化審法)	22936-75-0
ピラゾスルフロンエチル	0.070	C ₁₄ H ₁₈ N ₆ O ₇ S	8-(2)-1400 (安衛法)	93697-74-6
プレチラクロール	1.5	C ₁₇ H ₂₆ ClNO ₂	4-(7)-1362 (安衛法)	51218-49-6
鋳物質微粉等 (結晶質シリカ)	97.63 (36)	— O ₂ Si	— (1)-548	— 14808-60-7

4. 応急措置

一般的アドバイス

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受ける。
 緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受

吸入した場合	けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 医師の診断・手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぎ、付着又は接触部を水と石鹼を用いて洗い流す。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断・手当てを受ける。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合	直ちに清浄な流水で数分間洗浄する。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受ける。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の手当てを受けさせる。口をすすぐ。 可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示す。
医療関係者への情報	特定の解毒剤はない。 対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	噴霧放水、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	有毒な煙を放出する可能性がある。
特定の消火方法	周辺火災の場合、危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合には、容器及びその周囲に散水して冷却する。 汚染された消火水を排水路や河川等に流入させてはならない。
消防士へのアドバイス	
消火を行う者の保護	消火作業の際は、自給式呼吸器、完全防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行う。 粉じんの発生を避ける。
環境に対する注意事項	地表水や下水システムに排水しない。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関係当局に連絡する。
封じ込め、浄化の方法及 び機材	漏出物を封じ込めて防爆型の電気掃除機で集め容器に移し、地域/国の 規制に従って廃棄する(「13.廃棄上の注意」を参照)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	・情報なし
安全取扱注意事項	・使用前に取扱説明書を入手する。 ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。 ・作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術

的に必要なあらゆる措置をとる。

- ・取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
- ・作業所の十分な換気を確保する。
- ・部屋の排気および全般的な換気を確保する。
- ・個人用保護具を着用する。
- ・危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しない。
- ・ラベルを良く読む。
- ・ラベルの記載内容以外に使用しない。
- ・農薬は余らせて廃棄することのないように全てを使い切る。
- ・使用済み容器などの洗浄液は、環境に影響のないよう配慮し適切に処理する。
- ・有効期限内に使用する。
- ・使用済み容器は他の用途には絶対に使用しない。
- ・かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- ・情報なし
- ・作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。
- ・製品取扱い後には必ず手を洗う。
- ・施錠して保管する。
- ・換気のよい冷暗所で、密封出来る容器に入れて保管する。
- ・小児の手の届かない所に保管する。
- ・食品や飼料と区別して保管する。

接触回避
衛生対策

保管

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
- ・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度
許容濃度

TWA 値(シンジェンタ社)	プレチラクロール	4mg/m ³
日本産業衛生学会	未設定	
ACGIH	未設定	

保護具

呼吸器用の保護具	防塵マスク
手の保護具	不浸透性手袋
眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	固体
色	淡灰色
臭い(閾値)	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
引火性	引火しない
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	9.3
溶解度	データなし
オクタノール／水分配係数	プレチラクロール:log Pow = 3.9 (25°C)
蒸気圧	データなし
密度	1.2 (見掛比重)
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下では安定。
化学的安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	通常の使用条件及び保管条件下では生成しない。

11. 有害性情報

急性毒性		
経口 LD50	ラット	>5000mg/kg
経皮 LD50	ラット	>2000mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ	刺激性あり
呼吸器感作性又は皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性なし
生殖細胞変異原性		区分2の結晶質シリカを1.0%以上含むため区分2とした。
発がん性		区分1Aの結晶質シリカを0.1%以上含むため区分1Aとした。

生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1(呼吸器系, 腎臓, 免疫系)の結晶質シリカを 10%以上含むため区分 1(呼吸器系, 腎臓, 免疫系)とした。
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 短期(急性)

魚毒性	コイ LC50 (96hr)	44mg/L*1
水生無脊椎動物に対する毒性	オオミジンコ EC50 (48hr)	2.3mg/L*1
藻類に対する毒性	藻類 EC50 (72hr)	0.010mg/L*1

*1: 有効成分シハロホップブチル、ジメタメトリン、ピラゾスルフロンエチル、プレチラクロール含有類似製剤の試験成績

水生環境有害性 長期(慢性)

慢性毒性データ及び急速分解性が不明であることから急性毒性データで判定、区分 1 に該当。

残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない

13. 廃棄上の注意

注意事項

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送

・国連番号	UN3077
・国連輸送名	環境有害性物質(固体)、N.O.S.(プレチラクロール)
・国連分類	9

・容器等級	III
・ラベル	9
・環境有害性	該当
航空輸送	
・国連番号	UN3077
・国連輸送名	環境有害性物質(固体)、N.O.S.(プレチラクロール)
・国連分類	9
・容器等級	III
・ラベル	9 その他有害性物件
・梱包指示(貨物機)	956
・梱包指示(旅客機)	956
・梱包指示(少量輸送許容物件)	Y956
・環境有害性	該当
海上輸送	
・国連番号	UN3077
・国連輸送名	環境有害性物質(固体)、N.O.S.(プレチラクロール)
・国連分類	9
・容器等級	III
・ラベル	9
・EmS コード	F-A, S-F
海洋汚染物質	該当
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。消防法の定めに従う。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 20846 号
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 結晶質シリカ(政令番号: 165 の2) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) 結晶質シリカ(政令番号: 165 の2)
化管法	プレチラクロール 第1種指定化学物質
毒物及び劇物取締法	該当しない。
消防法	該当しない。
土壌汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)ふっ素及びその化合物

16. その他の情報

記載内容の取扱い	製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するも
----------	---

のではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

問合せ先

担当部門

電話番号

HSEグループ

03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999